

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+CDDP療法(EP療法)
(short hydration)

4 週毎 コース予定

疾患名 小細胞肺癌

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()
スケジュール

		day1	day2	day3
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓		

【注意】

- * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解
(濃度0.4mg/mL以下の濃度になるように)し30分以上かけて点滴静注する)
またDEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する
- * 一日の尿量が3000 mL以上になるように調整すること
- * シスプラチンは遮光のこと
- * 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500mLを1日2本飲水すること

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20mL/時間)
- ② 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500mL/時間)
- ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + アロカリス 235 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分(200mL/時間)
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液500 mL 点滴静注90分(360mL/時間)
- ⑤ 20%マンニトール 200 mL 点滴静注30分(400mL/時間)
- ⑥ シスプラチン + 生食 適量(全量 500 mL) 点滴静注120分(250mL/時間)

⑦ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500mL/時間)

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2, 3

① 生食 500 mLで血管確保

維持(20mL/時間)

② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食20mL

側管静注

③ エトポシド + 5%ブドウ糖液500 mL

点滴静注90分(360mL/時間)

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

Day 4

① デキサメタゾン 6.6 mg + 生食20mL

側管静注

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓			↓		
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓			↓		
確認						